

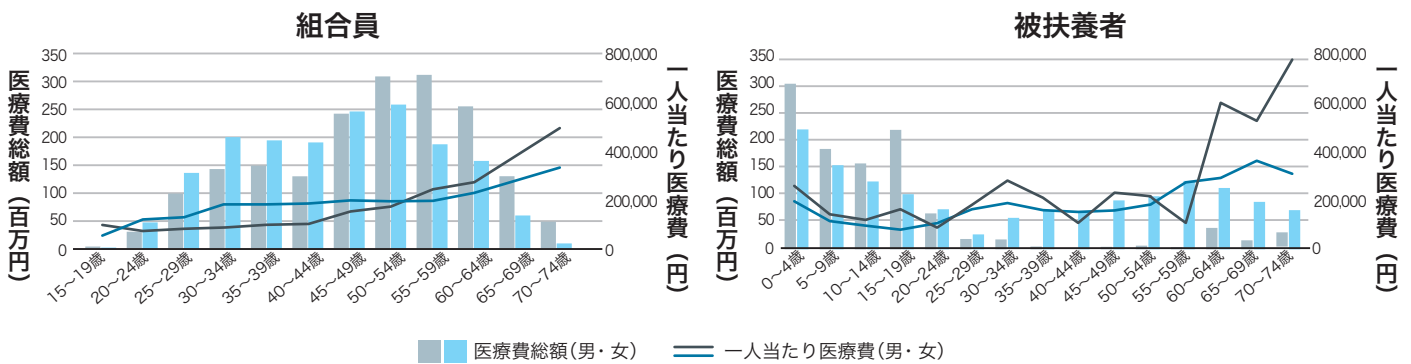
# レセプト・健診等分析結果

組合員及び被扶養者のレセプト・健診結果等の分析を行いましたので、令和4年度の結果をお知らせします。「共済だより令和5年11月号」に掲載のアンケートと併せて、今後の保健事業の見直し及び第3期データヘルス計画に役立てていきます。

## 年齢別医療費総額と一人当たり医療費

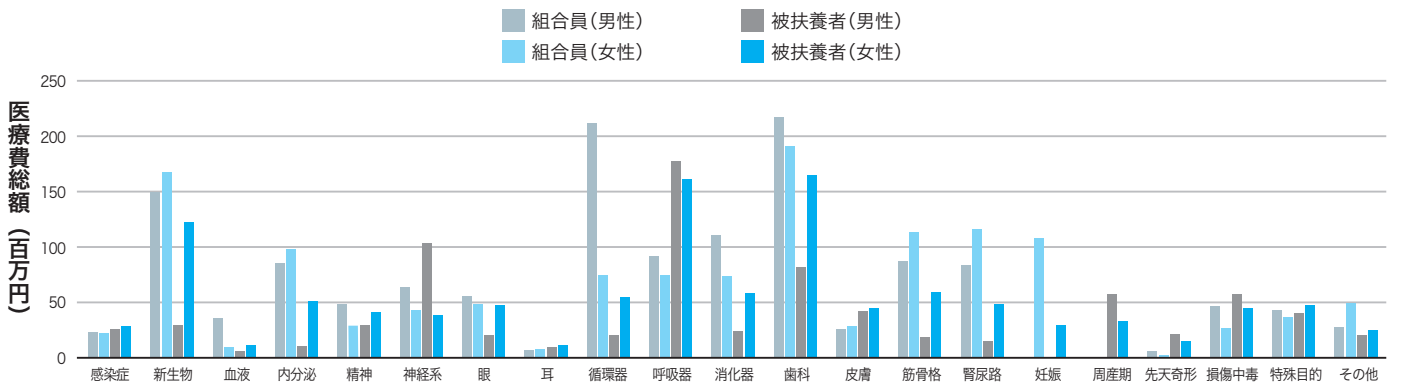
組合員の医療費は、40歳代が全体の約23%、50歳代が約30%を占めています。一人当たり医療費は年齢の上昇とともに増加していますが、50歳代から男女の一人当たりの医療費が逆転しています。

被扶養者の医療費は、0歳代が全体の約34%、10歳代が約24%を占めています。一人当たり医療費は、男性は65歳以降になると大幅に上がり、女性は妊娠・出産のため、20歳代、30歳代と増加した後一度減少しますが、40歳代後半から再び増加しています。



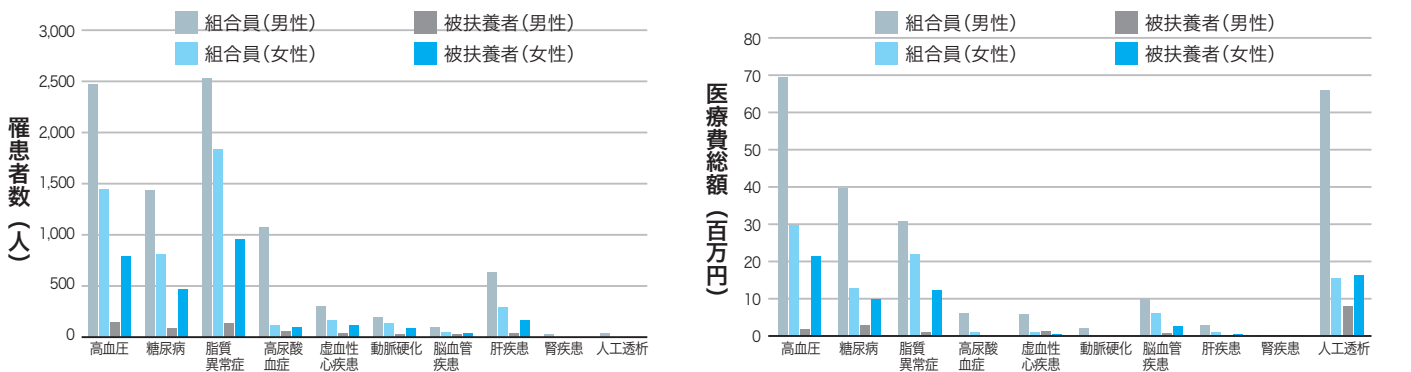
## 疾病大分類別医療費

組合員男性は歯科・循環器(高血圧等)・新生物(がん)、組合員女性は歯科・新生物・腎尿路(腎臓疾患等)、被扶養者男性は呼吸器(風邪等)・神経系(てんかん等)・歯科、被扶養者女性は歯科・呼吸器・新生物が医療費の上位となっています。



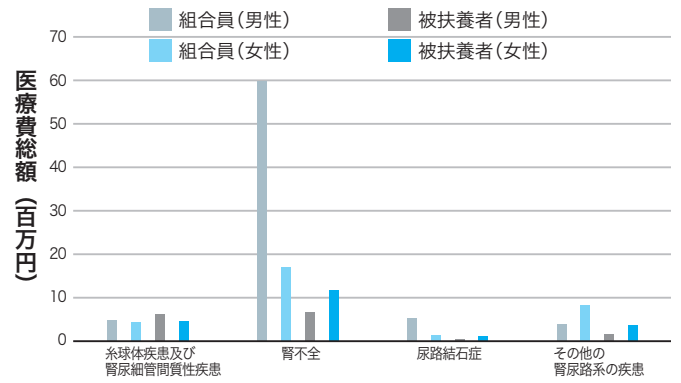
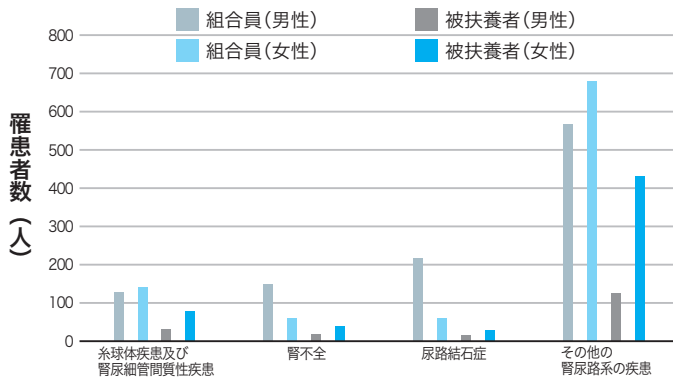
## 生活習慣病

生活習慣病の罹患者数は脂質異常症、高血圧、糖尿病の順番に多くなっています。生活習慣病が悪化すると、糖尿病性腎症、腎不全から人工透析治療が必要となりますので、普段から生活習慣に気を付けて、生活習慣病や重症化を未然に防ぐようにしましょう。



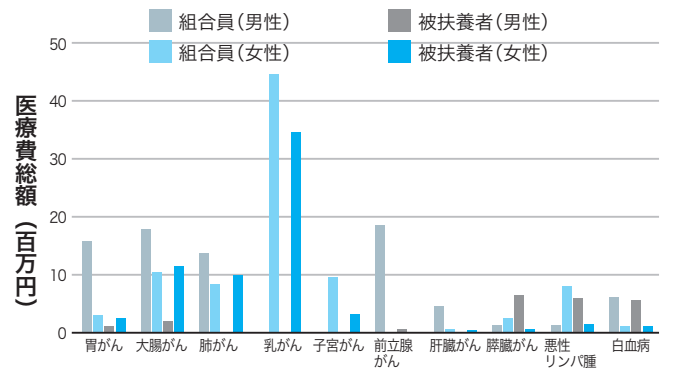
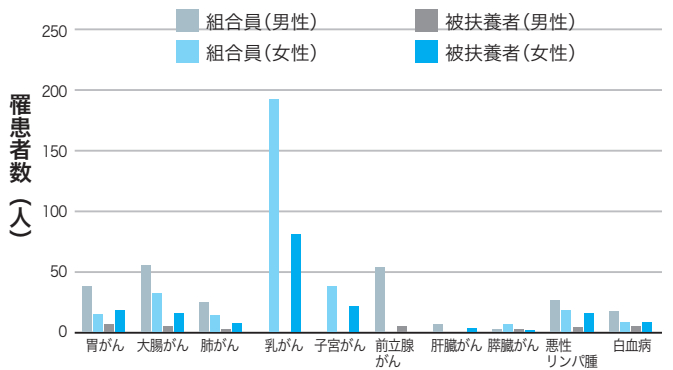
## 腎尿路

腎不全の中には人工透析が含まれます。人工透析は生涯行うことになるため注意が必要です。



## 悪性新生物

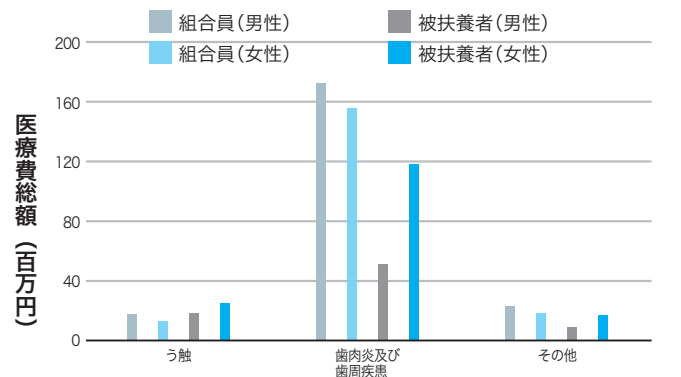
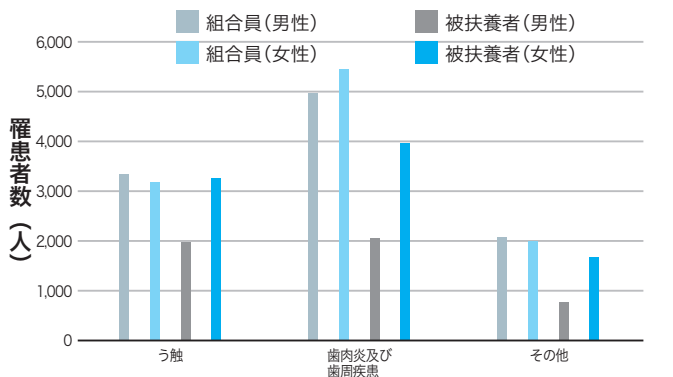
悪性新生物の罹患者数・医療費ともに最も多いものは乳がんです。女性の罹患者数は、乳がんにつき、子宮がん、大腸がん、医療費は、乳がんにつき大腸がん、肺がんとなっています。男性は、罹患者数・医療費ともに、大腸がん、前立腺がん、胃がんが上位を占めています。年に1回は職場の定期健康診断や人間ドックを受診しましょう。



## 歯科

歯科の罹患者数・医療費いずれも、歯肉炎及び歯周疾患、う蝕(虫歯)、その他(顎関節症等)の順番に多くなっています。

歯周病等の歯科疾患は糖尿病、内臓疾患の原因・悪化の要因といわれていることから、当組合の歯科健康診断(所属所内で行う出向型歯科健診)や定期的に歯科医院の受診をお願いします。



※罹患者数は、一人で複数発症している場合もあり、延べ人数です。  
 ※医療費は、主傷病に紐づけ算出しています。